



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

—あいなん音故地新—

1歩、2歩

昨年のコラムに『イイオンナ』とタイトルを付けたものがある。そこに私はこう書いた。「失敗や負けを恐れるなよ、私。恐れて一歩を踏み出せんようになることが一番怖い。」今の私は思うようにいかず自信喪失。不安で足がブルブルと震え、気を抜いたら涙が出そうなくらいや。「やろうと決めたことをやり切る」ことは、いくつになっても大変やね。そんな私が、昨年の自分のコラムに励まされとるという、なんとも不思議な現象がおきとる。

さっきの文章の前にこうも書いとった。「『やってよかった』その一言に尽きる。やろう!と決めた、あの日の自分を褒めたい。」…今回もそう思えるやろうか。思えるようにやるしかないか。今はまだそうは思えんけど。

挑戦することに意味があり、やったことで経験となり、そこから学び成長し、自信に変わっていくやろう。『失敗』やったとしても、やってよかった!って思うやろう。たまに今みたいにガッツリ落ち込んでしまうけど、それでもやっぱりいつでも挑戦しときたい。まだ見たことない景色が見たいし、知らんことを知っていきたいけんね。

去年の私よ、ありがとう!!来年も再来年もこの時期が来たら読み返して、鼓舞しながら1歩、2歩と進んでいくで! (テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“11月の新着図書ピックアップ”の紹介

【自然科学】

『日本の美しい地形・地層図鑑』

竹下 光士(文・写真)/エクスナレッジ(発行)

海に囲まれ、4つのプレートがひしめき合う日本列島は地形・地層の宝庫。カルスト地形、柱状節理、断層、リアス海岸、甕穴などの絶景を、地形写真家の著者が撮影。初心者でもわかりやすい言葉で解説しています。チバニ안의解説ページや全国のジオパーク、国立公園等の撮影スポットも掲載。実際に現地を訪れたり、空想の旅をしたり、おとなも子どもも楽しめます。



【小説】

『13月のカレンダー』

宇佐美 まこと(著)/集英社(発行)

祖父母がかつて住んでいた空き家を訪れた侑平は、13月まである不思議なカレンダーと脳腫瘍で余命いくばくもない祖母の病状を綴った大学ノートを見つける。さらに祖母が広島出身で、その兄は原爆で亡くなったということを近所の人から知らされ、自らのルーツを知ることになる。凄惨な原爆被害と後遺症や差別。戦争のおごさと最後に訪れる奇跡を見届けてください。



毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。

図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ